東愛知カラーニュース

リサイクル帆布に三河木綿アレンジ

豊橋の「日之出」エコバッグ販売開始

お出かけに便利な手提げバッグ「オトメ・フウ・エス」（左）と、広口のトートバッグ「オトメ・フウ・トート」

近日販売予定の「オトメ・フウ」シリーズ

日本初のモップメーカー、日之出（豊橋市錦町、松本百合子社長）が、エコ帆布バッグ「OTOME　FUO（オトメ・フウ）」のインターネット販売を開始した。「エコだからこそ美しくなくてはならない」をコンセプトに、リサイクル帆布に、三河木綿「刺子」をアレンジ。松本社長は「エコ帆布バッグで日本一のブランドを目指したい」と語っている。（杉浦文夫）

1920（大正9）年に、創業者・松本繁次郎氏が、東京で日本初のモップ製造販売を開始した平安堂松商店が同社の前身。48年に日之出モップ製造所を設立。60年から豊橋でモップ製造を開始し、79年に日之出設立。東京から豊橋に拠点を移した。

モップは、イージス艦でも採用されるほど定評。01年からエコロジー関連製品の製造を開始して04年、モップ、マットともに日本初のエコマークを取得した。

「OTOME　FUO」は、社員から100を越えるデザインを集め、数年間にわたる試行錯誤で創作。

工作用手袋を岡崎で反毛・撚糸し、豊橋の芳賀織布工場のシャトル織機で織ったリサイクル帆布を、「由布（ゆう）＝由来のある布」と名付け、日之出社内で、蒲郡の三河木綿「刺子」をアレンジ・デザインし、一品一品丁寧に縫製した。

昨年、中小企業基盤整備機構が日本製品を応援するため運営する、東京表参道のセレクトショップ「Rin」や、伊勢丹デパート新宿本店で出展し、好評を得たため今回、同社からインターネット販売することに。

松本社長は「リサイクル糸を昔ながらの織機で織り上げた『由布』と、幻の手織り『刺子』で、独得な風合いを出せました。エコだからこそ美しく、エコカッコイイバッグです」と自信。現在、着物をリサイクルした、第2、第3のエコ帆布バッグの販売も準備中だ。

問い合わせは同社（0532・31・2237）へ。